

相場情報 《今後価格動向要注意商品》



区分	商品	相場動向	相場状況
食品	ヤングコーン	タイ産現地工場により不作。極品薄のところあり。	→
食品	中国フルーツ缶	黄桃・白桃ともに新物入荷予定。	→
食品	中国うずら缶	極品薄継続。実績店に対し、各社都度割り当て。	
食品	食用ごま	春から秋にかけて各社値上げ実施中。	↑
食品	昆布	中国産真昆布今期輸入量ゼロの見込み。加工品を中心に欠品が増える予想。	↑
食品	切干大根	中国産切干大根各社値上げ。原料価格高騰よりも為替要因が大きい。	↑
食品	大豆油・菜種油	原料相場は落ち着いてきたが為替要因による値上げの可能性大。	
食品	胡麻油	春から夏にかけて各社値上げ実施。原料油の値上げもあり今後上がる可能性大。	↑
食品	ラード	8月以降の価格改定は未定だが原料在庫は非常に少ない。	↑
冷蔵	USポテト品	国産は原料高騰により価格高騰。北海道原料は原料減産のため新規販売不可のものもあり、割当販売が続く見込み。中国原料品は契約数量・期間が決まっており輸入数量を増やせず商品によって割当販売継続。国産・中国産ともにしばらくの間は新規 大口の販売は難しい。	↑
冷蔵	輸入凍菜品全般	輸入各社価格改定の交渉を進めている。 為替変動による収益悪化のため条件販売等販促はかけられない状況。	↑
冷蔵	輸入鶏肉BRZ	7月の現地出船は34,000t大で消費量を加味するとやや少ない。 買い付け高騰のため販売先を紐づけた商売も増えておりフリー在庫は多くはない。	↑
冷蔵	輸入豚肉(シングルペリー) 輸入牛肉(ショートプレート)	市中に消化が悪い在庫が散見。9月の決算期に向けて処分売りが増える可能性も。	↑
冷蔵	国産ポテト品	ホクレンを中心とする国産ポテト品は新物切り替えを前にタイトな状況が続いており新規販売不可。また割り当て販売のため既存得意先へ数量を限定しての販売が続く。	↑
冷蔵	USポテト品	各社年内の価格改定案内がほぼ終わり9～11月に改定実施となるUS品の値上げ幅は大きい。	↑
米	国産	関東米の概算金が発表され令和3年産よりもキロ15～20円前後値上げ、魚沼産で30円～35円の値上げ。新潟県・東北方面の大雨による影響について、一部の地域では水害被害が報告されているものの、全体に対する影響はないとのこと。	↑
特販	小麦粉	①ロシア・ウクライナ戦争による輸出停滞、②インドの輸出禁止、③産地アメリカの熱波による作柄悪化、④円安を要因とする相場上昇。9月に農林水産省より製粉メーカーへの「麦」価格改定の案内。「粉」価格の改定は12月を予定。	↑
特販	国産馬鈴薯澱粉	令和4年産への端境で品薄状況。3年産から4年産への繰越は発生せず。 馬鈴薯の収穫状況によっては新物の品薄→価格上昇が予想される。	↑
特販	輸入加工デンプン	海上運賃、為替影響。穀物の世界的品薄で原料(馬鈴薯・タピオカ・サゴ等)問わず値上げ。	↑
酒	全般(飲用・調味料)	原料アルコール、糖類の値上がり、円安を要因とする製品の値上げ。	↑
NF	紙製品全般	原料パルプの高騰、燃料費・包材の値上がり、物流費の高騰を要因とする製品の値上げ。	↑